

## ( 1 5 ) 都市ガス業

15 / 14 16 / 15 伸び率 10%以上 ● 伸び率 0 ~ 10%  
: 天気図マーク; ● 伸び率 0 ~ 10% 伸び率 10%以下

### 1 . 企業経営動向

#### ( 1 ) 都市ガス需要動向

平成 1 5 年度の都市ガス大手 3 社のガス販売量は、前年度に比べ 1 , 0 0 5 百万 m<sup>3</sup> (46MJ / m<sup>3</sup> 換算。以下同じ。) 増加し、2 1 , 4 9 3 百万 m<sup>3</sup> ( 前年度比 4. 9 % 増 ) となった。

これを用途別に見ると、業務用については、新規需要の開発や空調需要の増加により、前年度比 7 . 0 % 増加した。また、家庭用については、需要家件数が増加したことから同 2 . 0 % の増加となった。

平成 1 6 年度のガス販売量については、家庭用・業務用ともに積極的な需要拡大努力を織り込み、全体としては前年度比 2 . 8 % の増加を見込んでいる。

#### ( 2 ) 中期の見通し

ガス販売量について、家庭用では、都市生活の質的向上に伴う新たな需要の創造等、都市ガスの一層の普及拡大を図っていくことを前提に、また業務用については、他燃料との競合の激化等、依然厳しい環境にあるものの、ビル冷暖房・コージェネレーション分野での都市ガスの利用促進、発電分野における需要拡大等の販売努力を考慮して想定した結果、今後 5 年間 ( 平成 1 5 年度から平成 2 0 年度まで ) の年平均伸び率は、家庭用 1 . 0 % 、業務用 3 . 6 % 、全体で 2 . 8 % の伸びが見込まれる。

#### ( 3 ) 企業業績

都市ガス大手 3 社の平成 1 5 年度の決算は、経常利益が 2 , 0 4 6 億円となり、前年度と比較して 3 6 . 8 % の増益となった。

これは、業務用の新規需要増等により販売量が増加し、売上高が 1 兆 9 , 8 7 0 3 億円、前年同期比 3 . 0 % 増のとなり、経常費用が販売量の増加に伴う原材料費等の増加があったものの、経営効率化の一層の促進等により、1 兆 8 , 2 9 0 億円、前年同期比 0 . 5 % の微増にとどまったことによる。

### 2 . 設備投資動向

#### ( 1 ) 平成 1 5 年度実績

平成 1 5 年度の設備投資実績額は、前年度に製造設備等の大規模工事があったことによる反動から H14-H15 共通企業ベース 2 0 社では、前年度に比べ 1 4 7 億円 ( 前年度比 6 . 2 % ) の減少となった。

## ( 2 ) 平成 1 6 年度計画

平成 1 6 年度の設備投資計画額は、総額 2 , 3 3 0 億円(調査対象 2 0 社)で、前年度に比べ 9 7 億円(前年度比 4 . 3 %)の増加を計画している。

## 3 . 長期資金調達・運用動向

### ( 1 ) 長期資金運用動向

都市ガス業は、調達資金の殆どを設備資金に充当している。なお、平成 1 5 年度の関係会社等への投融資の資金調達に占める割合は 3 1 . 6 %となっている。

### ( 2 ) 長期資金調達動向

平成 1 5 年度の設備資金等の調達は、内部資金が 1 3 2 . 6 %と調達の額を上回る見込みであることから、社債・借入金等の外部資金は 2 4 . 7 %の減少となっている。

平成 1 6 年度の設備資金等の調達計画は、内部資金が 1 0 2 . 1 %と調達の額を上回る計画であることから、社債・借入金等の外部資金は 2 . 1 %の減少となっている。

(グラフ 1 : 設備投資の前年度比の推移)

